

## まちづくり地域懇談会（ビューロー）＜議事概要録＞

日 時 平成28年11月6日（日）  
18時30分から19時50分  
場 所 ビューロー 3階会議室

【参加者】：13名（男性7名、女性6名）

※報道機関無し

【町サイド】： 6名  
三好町長、小林副町長、森課長、渡部主幹、  
舛舘主査、佐藤主事

1 開 会 事務局	<p>みなさん、おぼんでございます。ただいまから、まちづくり地域懇談会を開催させていただきます。本日は、大変寒い中、また、日曜日の遅い時間からの開催にも関わらず、ご参加をいただきましてありがとうございます。私、本日の進行役を務めさせていただきます、役場まちづくり課の森と申します。よろしくお願いいたします。大変恐縮ですが、携帯電話等につきましては、マナーモードに設定するなどのご配慮をお願いいたします。</p> <p>それでは、恐縮ですが座って進行させていただきます。まず、本日の懇談会のテーマについて、少しお話をさせていただきます。昨年開催させていただいた地域懇談会では、「地方創生」が主なテーマとなっていました。これは主に人口減少を抑制するための施策や事業についてでした。今回は、「総合計画の策定に向けた意見・提言」となっておりますが、総合計画とは、町が独自に策定するものでして、南幌町が目指していく方向性について、政策や事業などを具体的に明らかにするものです。</p> <p>現在、策定作業を進めている「第6期南幌町総合計画」は平成29年度から平成38年度までの10年間を予定しており、こちらは産業経済・教育文化・医療福祉・生活環境など、本町のまちづくり全般に係る計画となるもので、今の段階としては、町民の方に審議会の委員として参画していただいております。また町議会にも説明・協議をさせていただくほか、町民アンケートの実施や子育て世代を呼び込むことをテーマとした、まちづくりワークショップなども開催しながら進めているところです。</p> <p>本日の懇談会では、現段階における総合計画の策定概要や主な事業等について、ご説明をさせていただき、その後で、会場の</p>
--------------	---

<p>2 挨拶 事務局 町長</p>	<p>皆様からご質問やご意見をお伺いしたいと考えております。その後、地域課題等について、会場の皆様と町長との懇談を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、終了時間の予定でございますが、懇談会全体では約1時間半程度と考えており、おおよそ午後8時頃を目安とさせていただければと思っておりますが、質疑応答やご意見などにより前後することがありますことをご了承願います。</p> <p>それでは、三好町長より皆様にご挨拶を申し上げます。</p> <p>皆さんこんばんは。寒い中ご出席いただきありがとうございます。今年は気象変動が激しい年かと思えます。8、9月含めて北海道に影響がある台風が4つもあったということで、今なお被災地の方々は大変な思いをしております。一日も早い復興を願いたいと思っております。北海道でこんなに台風の影響があるのは、気象がどんどん変化しており、魚の移動もあってさんまや鮭が捕りにくくなってぶりが来たといったような要素があります。北海道はまだまだ開発されていきますし、当然第1次産業農畜産含めて大事な国の資源の宝庫ですので伸びる要素はまだまだあると思っております。昨年度は地方創生ということで皆様から意見を聞きながら活用して人口減をなんとか食い止めたいということで政策のご意見をいただきましたが、現在11月一日で人口は7,808人でまだ歯止めがかからない状況でございます。何とか人口問題研究所が出している将来の南幌町の人口には負けたくないと思っており、もっと増えるような状況を作りたいという思いです。今年は第5期総合計画が終わる年です。それを振りかえりながら新たな総合計画策定作業に入っています。新たな町づくりの指針をきちっと10年作って次の時代をどう生きていくかということをやっていくべきではないかと思っております。今年の5月にオープンさせていただきました新しいプール、健康増進の意味も含めて行ってあります。年配の方もたくさんの方に来ていただいたということであります。それらも活用しながら今後色々なメンテナンスも始まりますが、まちづくりにいかに取り組んでいくか、それによって移住定住も含めて人口減を食い止めようとやっています。余所において行かれないようにこの計画を作っていきたいと思えます。しかしながら、財政面はかなり厳しいですが、大変だった時期に比べますと少しは良くなっているかなと思えます。ただ、こ</p>
----------------------------	--

	<p>れに甘えていると同じような結果になりますので、それらをしつかり受け止めて将来の発展方向を今回の第6期総合計画に盛り込んでいきたいと思っておりますので、今日は多くの皆さんからご意見をいただいて計画に反映したいと思っております。懇談の中で課題の情報提供の話をしていただきますが、総合計画については職員から説明させていただきますので、それを聞いてまた感じるがありましたらご発言をお願い申し上げまして開会の挨拶とさせていただきます。今日はよろしく申し上げます。</p>
<p>3 懇談 事務局</p>	<p>(1) 総合計画の策定に向けた意見・提言 それでは、懇談に入らせていただきます。(1) 総合計画の策定に向けた意見・提言について、まず事務局から資料の説明をさせていただきます。説明時間につきましては、15分程度ですのでよろしく願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>皆さん、こんにちは。私からは、本年度中の策定に向けて、協議・検討を進めております、第6期の南幌町総合計画案について、説明をさせていただきます。どうぞ、よろしく願いいたします。まず、本日、お配りした資料でございますが、昨年度に、少子高齢化の進行による人口減少の一方で拡大する大都市への集中や経済のグローバル化などを原因とします、社会経済情勢の大きな変化が起きている中、町の厳しい財政事情も考慮しながら、人口減少時代への対応と、地方創生などを目指して、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定したところですが、この総合戦略と現行の総合計画や国と道の動向などを踏まえて、役場内で検討した施策や事業を、南幌町総合計画策定審議会に提案、審議いただいた内容が基になっております。</p> <p>そこで、1枚目ですけれども、向かって左側には、総合計画の考え方や構成などが出ております。総合計画とは、将来のまちづくりの基本的な方向性を示して、それを実現するための方法を定めた、長期計画でございます。この計画の策定にあたっての基本的な考え方といたしましては、政策目標や成果指標を明らかにして、施策・事業の評価や達成度を測ることができる計画とし、さらには、社会経済的变化に柔軟に対応できる計画としております。また、計画の構成につきましては、まちの将来の姿などを示す基本構想、施策からなる基本計画、その施策に沿って実施する事業であります、実施計画からとなっております。このうち、基本計画は計画期間が10年間となっておりますが、先ほど</p>

申しあげましたとおり、現在の社会的経済的変化のサイクルはとて短くて、急激でありますので、5年後に状況に応じて見直すことにしております。

次に、その右ですが、5分野からなります、現段階の基本計画案になっております。今後、一部見直しもあろうかとは思いますが、基本的には、今の総合計画や総合戦略の施策の方向性を引き継いでいく形になっております。この中で、行財政分野では、住民参加・協働の推進や総合戦略の中でも積極的に取り組んでおります、広域行政の推進、産業経済分野では、収益性の高い農業の確立、担い手育成などの農業施策関係や商工関連施策、教育・文化分野では、小中学校や高校教育の充実と支援、社会教育やスポーツ活動、芸術・文化活動などの推進、保健福祉・医療分野では、健康予防対策、高齢者福祉や児童福祉関係、生活環境分野では、快適な都市環境づくりや防災対策などを打ち出しております。

2枚目をお開き願います。このページでは、1枚目に掲載されておりました施策に沿って実施します、第6期総合計画における、主な事業の一覧表となっております。このうち、カッコ書きで継続となっております事業につきましては、現在、実施中でして、今後も継続して実施する予定の事業であり、内容的には、既に広報などでもお知らせしておりますので、申し訳ございませんが、本日は説明を省略させていただきます。

最初に、左上の行財政分野でございますが、築35年が経過し、劣化している役場庁舎の内装や省エネ対策としてLED化などの改修を予定しております。その下、産業経済分野では、子育て支援米の中学生までの支給拡充の他、市街地にあります、空き店舗の活用支援として、テナント料の一部助成、また、農産物直売所につきましては、現在、整備に向けて、課題なども含めて検討しているところです。

左側の一番下、教育・文化分野では、保護者負担軽減や食育などを目的に、学校給食におけるパンや麺に使用する南幌産小麦への全額負担、みどり野小学校として開校して以来、20年が経過し、設備に劣化がみられる、現在の南幌小学校の改修、また南幌高校支援や保護者の負担軽減の一環として、南幌中学校から南幌高校への入学に対する祝金の支給、定期券購入補助から学校単位を基本として、保護者による送迎などに対しても一律助成できるよう見直し拡充を行う高校生通学費補助、これは例えば、江別高校への通学に対しては、夕鉄バスを利用する場合で

事務局	<p>も、保護者による送迎であっても、一律いくらいくらを助成するという仕組みを検討しているところです。この他、スポセンのトレーニング器具の更新や、基礎・基本学習を主体に、家庭環境などにより学習が困難な児童生徒の支援などにもつながる、公設の学習塾の開設に向けて、現在、課題なども含めて検討しているところです。</p> <p>保健福祉・医療分野では、子育て世代の負担軽減や少子化対策の一環として、保育料の引き下げを予定しております。現在の検討案では、近隣市や町で保育料が低いとされる自治体と同程度となることになっております。また、赤ちゃんと触れ合う機会が少ない、少子化時代に赤ちゃんやその親と間近に触れ合うことで命の大切さや親のありがたみを体験してもらい、命のふれあい交流についても検討しているところです。</p> <p>生活環境分野では昭和56年から供用を開始し、老朽化が進んでいることから、安全で安定した水道水の供給を目指して、南幌温泉に隣接した、長幌第2浄水場の改築、こちらは、長幌上水道企業団への負担金事業となります。防災関連では、役場庁舎への非常用発電装置の設置や洪水ハザードマップの作成などの他、一部、観光協会事業なども含まれておりますが、イベント出店強化、町の最大の観光施設である南幌温泉との連携強化や、町内案内マップの作成、案内看板修繕など情報発信強化による観光振興、また、建設の際の借金返済が終わり、使い方の自由度が高まる、ビューローの利活用の推進や今後、増加が予想される中古住宅の購入助成などを検討しているところです。</p> <p>もちろん、今、資料にあります事業以外にも、例えば、農業関係では、土地改良事業や保健福祉・医療分野では、高齢者福祉関係なども、これまでの取り組みを継続して実施していく予定となっておりますが、新規や継続拡充事業も含めて、全般的に、現在、協議・検討中でありますので、今後、変更となる場合もあることをご承知おき願います。以上、簡単ではありますが、第6期総合計画に関する説明を終わります。</p> <p><b>&lt;質問・意見&gt;</b></p> <p>以上で説明が終わりました。この後、町長との懇談の時間もありますので、質問等の内容によっては、その懇談の時間の中でお話をさせていただく場合がありますことをご了承ください。</p> <p>それでは、先ほどの説明に関して、ご質問やご意見を賜りたいと存じます。できる限り、一人でもより多くの方からのご</p>
-----	--

	意見をいただければと思っております。恐縮ですが、ご質問等のある方は、手を挙げてこちらにお知らせください。
町 民	29年度から38年度ということで長い年月かけて中で議論することになりますが、これは10年間続くものですか。
事務局	今年度計画策定作業をしていますが、来年度の29年度から38年度の10年間に渡っての町の目指す方向や取り組みの計画を作ります。
町 民	計画策定に加わる人たちは、10年間加わるのですか？10年間審議委員は続けるのですか？
事務局	策定作業中の今年度いっぱいの任命となります。
町 民	次年度は新しい人員を任命するのでしょうか。
事務局	総合計画策定審議会委員は15名おりますが、その方々は計画を策定するのを町長にお願いされているということになります。それが完了次第終了となります。途中で見直しがあるかと思いますので、また新たに審議委員さんをお願いする形になります。
町 民	10年間続けるのであれば委員さんは大変だと感じました。文章作成する人、リーダーは大変だと感じました。この文章は（資料）とても立派だと感じました。
事務局	計画を策定する際町長から依頼をして、会長、委員の方々が町の案を揉んでいただいて、あるいは我々も職場で意見を積み上げていくのですが、大変な作業となります。それを町長に答申をして策定作業、審議会が完了します。実際に執行する場合は、町長がリーダーとなりますので、そのもとで10年間に渡った計画に沿って執行していきます。
町 民	いままでで、計画を立てた中で遂行されて良かったと思うことはありますか。
町 長	過去に5回の総合計画を作って、それをもとに進めてきたか

	<p>ら工業団地も出来た、住宅団地も出来た、というのがあります。今はほとんど作られた状態で目新しいのはありませんが、今ある財産を今後引き継いでいくためにこのような計画を基に準備を進めていきます。総合計画の評価の審議会もありますが、概ねどの計画も沿ってきていると思います。100%ではありませんが、概ね来ていると私は思います。</p>
町 民	<p>温泉前の遊水池も計画に中に入っていたのでしょうか。</p>
町 長	<p>あれは国の計画です。高規格道路等大きなものは国にお願いして、100%国の事業でやっていただいています。直轄でやっており、そのほうが効率いいです。遊水池は平成31年に完成予定ですのでめどは立っているのですが、高規格道路は完成年度が出ていないので、あと2年くらいで中樹林のほうは出るのではないかと思っています。</p>
町 民	<p>国が農業者の方から土地を買い上げたのですか。</p>
町 長	<p>そうです。うちは農地しかありませんので農家の皆様のご協力をいただいて、作っていただいています。当別、千歳はもう終わっており、真ん中の江別から長沼が残っている状況です。千歳、苫小牧方面まで繋がっており、物流には良いです。反対側は小樽まで続いており、そちらはもう終わっています。</p>
町 民	<p>総合計画10年間という長いスパンとなっているが、どこの町もこのような計画策定の仕方なのか。社会状況が変わる中で10年間同じ計画ということになるので、そこはどのようにお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>先ほど説明不足でしたが、29年度から第6期となる計画で10年間となっていますが、中間の5年で見直しが出来ようにしています。やはり10年間といった様な長期的視点での計画が必要となってくるので、全部とは言えませんが、10年といった町が多いかと思います。ちなみに今第5期の総合計画執行中ですが、6年です。5年後の見直しの際には改めて審議委員さんをお願いする形になります。</p>
町 長	<p>どこの町も10年が多いです。今回だけ6年でやったら、3年</p>

	<p>で見直しとなると毎年総合計画をいじらなければならないくなり、不都合が出るので、10年計画で5年見直しがいいと思います。昔は国のほうで義務付けでしたが、今は市町村で行っていくことになっています。私は町の指針はしっかり作っていくべきだと思っています。多少は蛇行してしまうこともありますが、作っていくべきだと思っています。</p>
町 民	<p>総合計画策定審議会には町長もご参加されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>入らないです。町長から審議会にお願いする形になります。</p>
町 民	<p>審議会の方だけで話し合いをし町長に報告するのか。たまには町長も出てみては。</p>
町 長	<p>必要があれば呼ばれます。職員と委員で行っております。私が参加すると、全て私の意見になってしまうので、そうならないようにいろいろな人の目線が必要になっています。</p>
町 民	<p>他の市町村に視野を広めるため見学にいかれるのですか。</p>
事務局	<p>町長から審議会に策定に関するお願いをするのですが、当然審議会の委員さんだけではなく、役場サイドで検討するものもあったり、中堅や若手でワーキンググループを作りそこから提案をいただいたりしながら進めております。</p>
町 民	<p>オリンピックでは色々なところに視察をしていますが、新に計画策定することは、いろいろな視野や見聞を広めなければならない、町の中だけで考えたのでは良い案は出てこないという話を聞きます。</p>
事務局	<p>前の総合計画の際に同様の話をさせていただいた記憶がありますが、役場だけのことを考えれば、一番事をよくわかっているのは各課ではないかと思います。もちろんその中で研修や、勉強を行っております。不十分なところはあるかと思いますが、広域連携等で他の町ともやり取りをしていますので、その中で進めていく形です。</p>
町 民	<p>学校給食で今まではお米について助成していたということで</p>

	<p>今後パンや麺も負担軽減されるという拡充があるとのことですが、どの程度の負担になるのか。主食が減になるから結構負担が軽くなるのか。</p>
事務局	<p>学校給食の担当から上がってきている所ですが、南幌産の小麦が全額町で助成するとなると、おおよそ80万円弱くらいの負担になります。</p>
町 民	<p>例えば、お子さんの給食費が何割減くらいになるのか。移住のパンフレットで給食費負担の件を載せたらいいのにと思いました。</p>
事務局	<p>パンフレットについては、ビッシリ入れるよりはある程度ポイントを絞って掲載させていただきました。今後見直しする際は入れさせていただく検討をします。</p>
町 民	<p>お米は支援米というより、学校給食で助成されているといった文言は有効かと思いました。</p>
町 長	<p>南幌の麦、お米は安心安全が見えます。なので将来ある子ども達に、良いもの、安心できるものがせつかく町内にあるので使おうと思います。負担軽減の面もありますが、併せて健康に育てほしいという願いを込めて地元のものを使おうと思います。</p>
町 民	<p>高校の通学費助成の件で、道立高校では通学助成はしていないのですか。</p>
町 長	<p>していません。それぞれの市町村の独自政策で行っております。今年は、定期購入の方に対して行っております。29年度に提案しているのは、保護者の方から寮に入れてもお金がかかる、どうしても時間が合わなくて送り迎えもしている、そういうご意見をいただいて、差はありますが、子ども達全て対象に支援していこうという考えです。全国的にも行っている町もありますし、道や県ではなかなかできなくて、それぞれ独自の政策で行っております。</p>
町 民	<p>南幌高校の子どもに祝金ということですが、南幌高校の存続も危ぶまれるということでは、南幌中学校から行く子に渡すの</p>

町 長	<p>はわかるが、南幌町の高校に来てもらうための施策を拡充していただいて検討いただければと思います。</p> <p>南幌高校と私どもといろいろ議論を交わしていただいて、南幌町の独自政策だけでは足りないからできれば町民の子どもさんが行ってほしいという願いもあって、今回は出してみようという提案を出しました。</p>
町 民	<p>南幌町立病院の件で、施設の整備についてはどこに言えばいいのか。たとえば、外来にいったら、中の声が聞こえるというような状況では、高齢化が進むと先生も大きな声で話さなければならなくなり、そうすると全て外に筒抜けになってしまう状況になってしまいます。病院を新しくするといったような計画あればいいと思っていました。</p>
町 長	<p>今言っていた件も出来るだけ、今の中で直せる部分だけ先生方ともお話しさせていただいて、大きく改修はしていませんが、だいぶ聞こえないようにはなっています。今病院はうちの専属の医師ではなく、江別からお願いして来ていただいています。うちの高齢化率も30%を超えていますので、将来に向けて病院をいかに残していくかということで議論をさせていただいています。私は形はどうあれ、病院として残していかないと、病院が無く政策が無いところには良い町づくりは出来ないと考えています。改修をどのようにしていくかの議論も行ってあります。また、国のほうが病院の運営についても改革案を持っています。その辺の状況を見極めながら、町として病院として置いておこうと考えております。将来的に高齢化率も高くなりますので、お年寄りが24時間診ることができる病院を残すべきと考えています。</p>
町 民	<p>移住を進めているのであれば、出産の環境を整えてあげる、生むのは余所でもいいので、みてあげられるといったことも進めないと移住政策として足りないのではないかと思います。</p> <p>(2) 地域課題等に係る町長との意見交換</p>
事務局	<p>それでは引き続き、皆様と町長との懇談に入らせていただきます。これ以降につきましては町長が進行します。よろしくお願</p>

町 長	<p>いします。</p> <p>2点ほど私からお話しさせていただきます。冒頭でもお話しした通り、道内でいろいろな災害があり、南幌町も防災機器が古くなってきましたので、防災無線の切り替えを今年度中に行い、これから各家庭に新しい無線機を配布してまいりますので、2月末を目途に行っていきますのでよろしくお願ひします。もう一つは、町民の皆さんから要望が多くありましたが、ようやくドラックストアのツルハさんが来年の7月末にわが町に出店する運びとなりました。もう一つ何とかスーパーを持ってこようと今回セットで行いたかったのですが、最終的には南幌町への出店は早いということでツルハ単独での出店となりましたので多少利便性が良くなるのではないかと思います。これに甘んじることなくできるだけ皆さんの要望にある店が来ると町民の動きも活発になっていくと思っています。これからも粘り強くスーパーに来ていただくようお願ひしたいと思っています。今年から地方創生の絡みで行っております事業の中で、子育て住宅支援をしようということで最大200万、住宅公社は5割の割引をしていただくということで、行っております。おかげさまで契約が10数件来ています。これを何とか5年間の計画で行いますので埋めていきたいと思っています。是非町民の方もいろいろな方に声をかけていただいて、広めていただくことでもっと移住定住が進むのではないかと考えております。情報提供は以上でございますので、これから皆さんが町に対して、私に対して想いがあるかと思っていますので、自由に発言いただければと思います。</p>
町 民	<p>この町は笑顔であいさつしてくれるところが素晴らしいと思います。これからの若者には心豊かに生きていってほしいと思います。</p>
町 長	<p>小学生、中学生に非常に声をかけていただいております。それは、大人の方が毎朝登下校の際に見守りをして声をかけているから、そのおかげもあって子ども達に声をかけられるようになっていきます。これは小学校、中学校ともずっと続けていただくようお願いをします。やはり子どもも大人も対等だと思います。子どもたちに「おはよう」というのではなく「おはようございます」と大人だろうが、子どもだろうがそういうまちづくりにならなければいけないというお話がありました。私も出来るだけ「おは</p>

町 民	<p>よう」ではなく、「おはようございます」といえるように日々努力をしています。役場でも会議を始める際に挨拶運動をおこなっておりますが、普段から道端でも挨拶ができるよう率先して行いたいと思います。</p> <p>広報誌にロバタさんの土地が売りに出ていると思いますが、15区は高齢化しており、特に中央団地の人はことぶきやの横の小道を歩いて役場やみどり野医院に通っており生活道路となっています。出来ればロバタさんの土地が売れていなければ、あそこに道路をつけてほしいと思っております。今の時期は小道がドロドロになっています。砂利はひいてくださったのですが、出来ればロバタさんの土地を買収して道路をつけていただけないかと思っております。理由は2つあります。中央団地の高齢化がもの凄いです。高齢化しているものですから、家族が免許証を取り上げているので、あのロバタさんの土地が売れてしまって、ことぶきやさん等が買ってしまったときにあの生活道路がシャットダウンされたら非常に困ります。ぼろろにも抜けられるので、予算上大変なのは重々承知ですが、お願いします。車が出入りできる道路があると大変便利です。</p>
町 長	<p>土地の所有がどうなっているのかわからないので即答は出来ませんが、お年寄りがあの道路から出てくるのはわかっています。内容を確認して対応できるかできないか調べてみます。</p>
副町長	<p>何年か前に町のほうで買い上げているはずなのでその辺確認してみます。たくさんの方が歩いているのを見かけますので、道路状況等も確認させます。</p>
町 民	<p>除雪の件です。今西町に住んでいて、会社が所有する土地で空き地になっている所がいくつかあると思いますが、家の前が空き地だとそこに排雪したいわけです。でも、それは出来ないということで皆苦労しています。所有者の問題なのでどうしようもないのかもしれないですが、町で交渉等をしてもらえないものでしょうか。</p>
町 長	<p>団地にあちこち空き地があって、町も除雪の際に押し込んでいましたが、所有者からクレームがきました。了解を得たところは何件かあり押し込んでいるのですが、了解を得ていないとこ</p>

町 民	<p>ろは押し込んでいません。私有地なのでどうしようも無いです。</p> <p>除雪の仕方についても、家のほうに置いて行って、置いてはいけないところがきれいになっていたり、そんな除雪もありますので、町の除雪の技術も上げていただいております。</p>
町 長	<p>除排雪はかなりお話をしている、家の出入り口にはできるだけ置かないようお願いはしていますが、運転手が変わったり、新しい人が来てわからないまま行ったりしているので、注意をしながらお願いはしています。話はまたしたいと思います。</p>
町 民	<p>ビューローの前の歩道煉瓦の敷詰めしていますが、今度改修するときはアスファルトにしてほしいです。美観はいいですが、隙間から草が生えて私たち15区が削っています。へこんだところに泥が入るので草の種で草が生えてきます。草取りはしていますが、やりきれない状況です。今度改修する際はブロックに敷き詰めはやめていただきたいです。草が生えてくるとさびれた街イメージそのものです。役場の方2人も削ってくれるけれど、帰られない状況です。</p>
町 長	<p>15区の方、町内会の方たちに草取り等をしていただいて本当に助かっています。張り替える際は改めて考えなければならぬと思っています。ただ、今すぐに張り替えるといった話できませんが、どうする形が良いのか、デコボコもある程度酷くなれば直していますが、追いつかない現状ですのでそういうところを見ると舗装が良いのかとも思っておりますので、今後大きな改修があった場合考えていかなければならないと思います。</p>
町 長	<p>これで終わりになりますので、何かありましたら役場に来ていただき声を出していただければと思います。私は電気がついていればおりますので、是非寄っていただければと思います。</p>
4 閉 会 事務局	<p>以上でまちづくり地域懇談会を終了させていただきます。本日は、どうもお疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>